



平成30年5月11日

各 位

株式会社 エー・アンド・デイ
代表取締役執行役員社長 森島 泰信
(コード番号：7745 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 伊藤 貞雄
電話番号 048-593-1111

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）について決議しましたので、お知らせいたします。

なお、当社では経営環境の変化等に対応するため、毎年度中期経営計画を改訂するローリング方式を採用しております。

記

1. 中期経営計画（連結）の基本方針

(1) 将来における売上高営業利益率10%、売上高開発費率8%の達成を視野に、直近3年度（2019年3月期～2021年3月期）の連結経営計画を立案

- ・各事業の成長戦略を見直し、優先順位を設定、達成プログラムを立案・実施する
- ・高付加価値企業に転換していく為、開発・生産の生産性・効率性を改善する具体的手段を講ずる
高付加価値商品企画力の強化
開発効率の改善
製造移管推進、コストダウン、生産性アップ、リードタイム短縮

(2) 本部制を併用しながらの各事業の活性化

当社グループは、計測を軸に事業を展開し、計測・制御・シミュレーションシステム（DSPシステム）から電子計測機器、計量機器、血圧計等、様々な製品を取り扱っておりますが、その市場は産業向けから官公庁、医療機関、一般消費者等多岐に渡る上、開発・生産・販売面では、事業の発展段階や市場特性等を勘案し当社及びグループ各社で様々な区分けで分担しており、規模の割に複雑な事業構造となっております。

また、これまでは、個々の事業やグループ各社が個別最適を行う事で大きな成長を遂げてまいりましたが、ここ数年は開発投資効率の低下や収益の伸び悩み等、グループ全体では成長力に陰りが見られる状況でした。

これらの課題を解決し更なる飛躍を果たすため、「グループ総合力の強化」を基本方針として経営改革を開始いたしました。事業毎に開発・生産・販売を一気通貫で横断する活動を推進し、効果的なりソースの配分により更に効率を高めてまいります。また、各担当部門はそれぞれ次の施策を推進してまいります。

- ・営業施策 「売れる仕組みづくり」の構築
- ・開発施策 「開発効率」の向上
- ・生産施策 「全体最適生産体制」の強化
- ・管理施策 「グローバル管理体制」の強化

当社グループにはこれまでの開発投資により差別化された多くの技術蓄積があります。これらを総合的に活用し、持続的成長可能な事業への再構築を図ってまいります。

2. 連結数値目標（2019年3月期～2021年3月期）

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (業績予想)	2020年3月期 (目標)	2021年3月期 (目標)	年平均成長率 (%)
	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高	44,120	46,500	50,000	54,000	7.0%
営業利益	2,378	2,600	3,430	4,900	28.0%
経常利益	2,332	2,400	3,180	4,700	27.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,827	1,900	2,260	3,230	22.0%
売上高営業利益率 (%)	5.4%	5.6%	6.9%	9.1%	—

以 上

注：上記の予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。